

第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年12月

応募者名:横浜市道路局

事業の名称:都市計画道路横浜伊勢原線
(和泉・上飯田地区)街路整備事業

実施都市名:横浜市

事業目的

横浜伊勢原線は、幹線道路網の骨格となる3環状10放射道路の一つに位置付けられており、本市南西部地域と県中央部を連絡する幹線道路として、戸塚区戸塚町(戸塚駅)から泉区上飯田町(藤沢市境)を連絡する延長約5.6kmの重要な幹線道路です。

当路線の整備により、国道1号、環状3号線及び環状4号線が結ばれ、本市南西部地域の交通の大幅な円滑化に寄与します。

事業概要

事業名称:都市計画道路横浜伊勢原線(和泉・上飯田地区)街路整備事業

路線名:横浜伊勢原線

事業箇所:泉区和泉町～泉区上飯田町

事業延長:1,320m

幅員:22m(4車線)

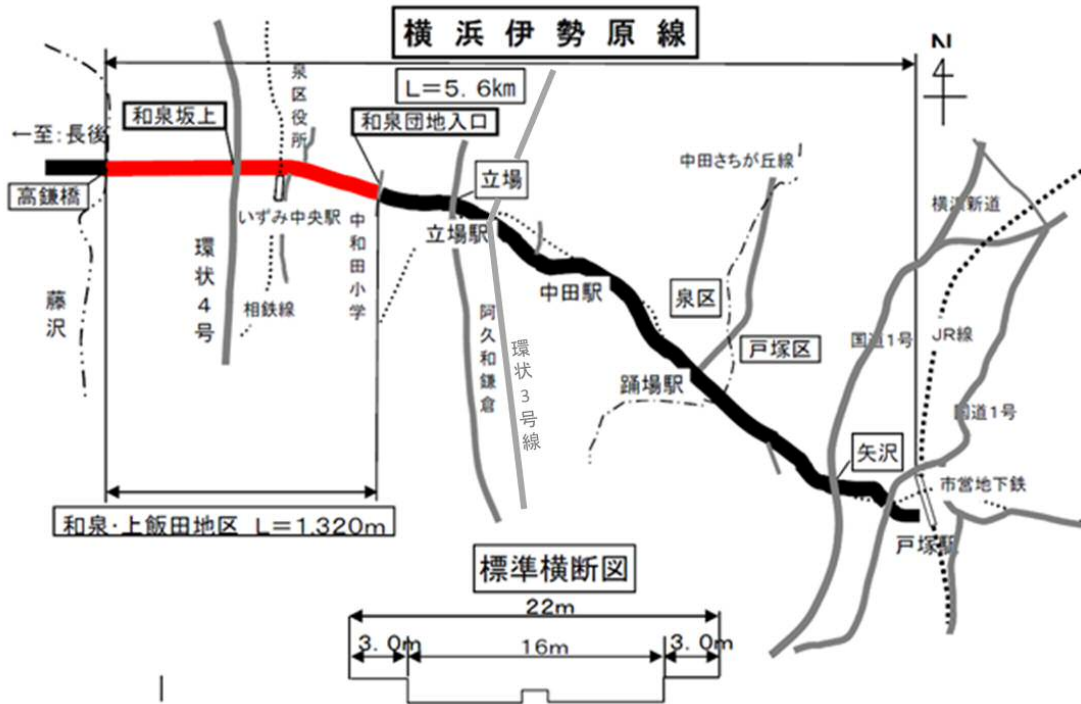
事業費:約114億円

事業実施期間:平成1年～平成22年

本事業は、泉区和泉町の和泉団地入口交差点から泉区上飯田町の藤沢市境までの延長1.3kmの区間を整備したものです。

この完成により戸塚駅から藤沢市境までが4車線で結ばれ、幹線道路の形成による都市間交通の連絡機能が強化され、利便性が向上し、渋滞が緩和されるとともに、安全性が確保されました。

事業位置図



全体図(平面図・横断面図)



横浜伊勢線(和泉・上飯田地区)の整備効果アピール資料

○事業概要

事業名：都市計画道路横浜伊勢原線
(和泉・上飯田地区)街路整備事業

路線名：横浜伊勢原線

事業箇所：泉区和泉町～泉区上飯田町

事業延長：1,320m

幅員：22m(4車線)

総事業費：約114億円

事業期間：H1～H22年度

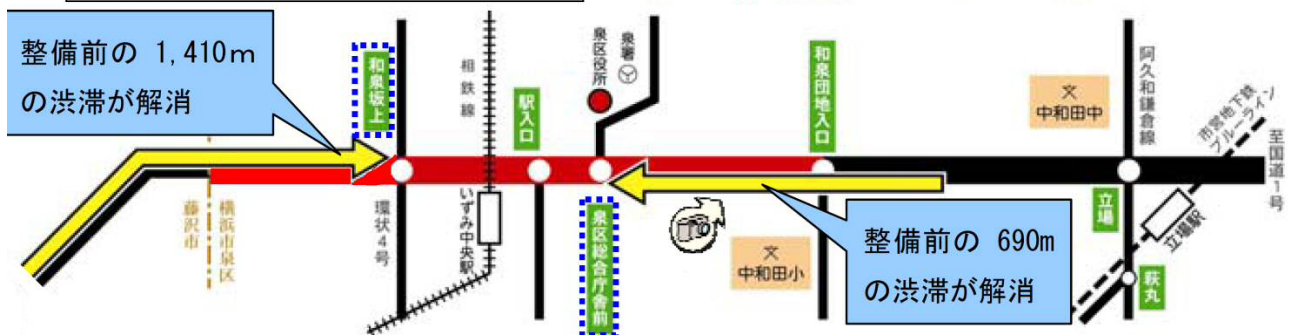
「整備効果」

渋滞長の変化(戸塚方面→泉区役所)

整備前：690m → 整備後：0m

渋滞長の変化(湘南台方面→和泉坂上)

整備前：1,410m → 整備後：0m



「その他の事業効果」

本事業区間の整備により、横浜伊勢原線の利便性が向上しました。

また、これまで渋滞を避けるため周辺道路へ迂回していた車両も減り、生活道路の安全性も高まっています。

さらに、両側に幅員3.0mの歩道を整備し、安全で快適な歩行空間が確保されており、スクールゾーンとしても児童の安全を守っています。

事業前写真

平成18年9月撮影



平成18年9月撮影



事業後写真

平成23年12月撮影



平成23年12月撮影

